

公益財団法人 お酒の科学財団
2025 年度事業報告書
(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

事業の概要

当財団はお酒と人、お酒と社会の良好な関係のあり方に寄与することを目的とし、お酒に関する科学研究に対する助成やお酒と人、お酒と社会の良好な関係のあり方に寄与する研究成果の普及活動を主な事業としている。

2025 年度の具体的な事業活動は以下のとおりである。

研究助成事業

2023 年度研究助成

代表研究者から助成期間の研究の結果について、最終報告書および最終報告会（2025 年 7 月 31 日）にて報告を受けた。

2023 年度助成先一覧（助成期間 2023 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

研究領域	研究課題名	代表研究者 (所属は助成開始時のもの)
臨床 精神医学領域	アルコール依存症に対するニューロモジュレーション治療の開発	慶応義塾大学医学部 精神神経科学教室 専任講師 中島 振一郎
臨床 内科学領域	アルコール関連肝疾患における病原体関連分子パターンを介した免疫賦活化機序の解明	順天堂大学医学部 消化器内科 准教授 内山 明
公衆衛生学領域	媒介分析による臓器別に異なる飲酒関連がんの背景メカニズムの解明	愛知県がんセンター がん情報・対策研究分野 主任研究員 小柳 友理子
心理学領域	慢性的飲酒が行動の習慣制御と代替行動分化強化法の有効性に及ぼす影響の検証	早稲田大学文学学術院 教授 神前 裕
特定研究領域*	超高齢期における ALDH2 遺伝型別の飲酒効果と適度な飲酒量の解明	慶應義塾大学医学部 百寿総合研究センター 専任講師 佐々木 貴史

* 2023 年度テーマ：ICT や AI を活用した評価や介入に関する研究

2024 年度研究助成

2024 年度の研究助成先 5 件に対し、最終年度の助成金として 1 件あたり 200 万円を支給した。また、代表研究者から初年度の研究の進捗状況について中間報告書および中間報告会（2025 年 7 月 31 日）にて報告を受けた。

2024 年度助成先一覧（助成期間 2024 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

研究領域	研究課題名	代表研究者 (所属は助成開始時のもの)
臨床 精神医学領域	減酒治療が心血管系に及ぼす自律神経活動変化の生物学的機序の解明	横浜市立大学付属病院 精神医学教室 助教 宮内 雅利
臨床 内科学領域	カルシウムチャンネル TRPV6 変異はアルコール関連消化器疾患発症リスクを変えるか	東北大学大学院医学系研究科 消化器病態学分野 講師 濱田 晋
公衆衛生学領域	加齢性難聴の発症に関与するアルコール摂取習慣、遺伝要因、代謝要因の総合的検討	東北大学大学院 医学系研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科 准教授 鈴木 淳
心理学領域	自然派ワインの認識から嗜好に至る心理メカニズムの解明	近畿大学 産業理工学部 経営ビジネス学科 准教授 大沼 卓也
特定研究領域*	深層学習と点群データを用いたプライバシー保持型酔客自動検知による線路転落防止	芝浦工業大学 工学部 電子工学科 大学院理工学研究科 教授 プレーマチャンドラ チンタカ

* 2024 年度テーマ：IGT や AI を活用したお酒による健康影響の評価やお酒による諸問題の解決につながる介入に関する研究

2025 年度研究助成

2024 年度に決定した助成先に対し、覚書を締結の上、助成を開始した。初年度の助成金として、1 件あたり 200 万円を支給した。

2025 年度助成先一覧（助成期間 2025 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）

研究領域	研究課題名	代表研究者 (所属は応募時のもの)
臨床 精神医学領域	うつ病を併存するアルコール依存症とテストステロンの関係性に関する研究	北里大学医学部精神科学 講師 村岡 寛之
臨床 内科学領域	好中球顆粒タンパク質を含む細胞外小胞を標的としたアルコール性肝炎の解析	産業医科大学・第 3 内科 助教 荻野 学芳
公衆衛生学領域	未成年飲酒の防止に向けた飲酒への意識の形成過程における家庭・社会の役割	国立成育医療研究センター 社会医学研究部 研究員 石塚 一枝
心理学領域	目標達成後の目標追求を継続させる方法の検討—節酒という目標に向けて	筑波大学・人間系 教授 外山 美樹
特定研究領域*	IoT デバイスによる手指運動変化検出を用いた酩酊度評価および警告システムの構築	東京医科歯科大学 整形外科学分野 助教 黒岩 智之

* 2025 年度テーマ：IGT や AI を活用したお酒による健康影響の評価やお酒による諸問題の解決につながる介入に関する研究

2026 年度研究助成

2026 年度から開始する研究助成に向けて、公募を行った（公募期間 2025 年 5 月 12 日～7 月 25 日）。2025 年 10 月～12 月に各領域の選考委員会を実施した。公衆衛生学領域に対しては、助成対象となる課題は無しと判断され、2026 年 3 月 9 日の理事会にて、公衆衛生学領域を除く各領域 1 件、計 4 件の助成先を決定した。

2026 年度助成先一覧（助成期間 2026 年 4 月 1 日～2028 年 3 月 31 日）

研究領域	研究課題名	代表研究者 (所属は応募時のもの)
臨床 精神医学領域	アルコール依存症に対するマインドフルネス断酒治療アプリの有用性検証	慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室 准教授 菊地 俊暁
臨床 内科学領域	アルコール摂取による発がん感受性を反映する分子指標の開発	京都大学・白眉センター 特定准教授 垣内 伸之
公衆衛生学領域	選考の結果 助成対象無し	
心理学領域	単独飲酒に起因するアルコール使用障害の発生機序：社会割引に基づく説明モデルの検証	旭川医科大学 医学部 一般教育 心理学 助教 中村 敏
特定研究領域*	個人飲酒歴・遺伝的素因を反映したリアルタイム HSI-AI 内視鏡スクリーニング	北海道大学大学院 工学研究院環境循環システム部門 助教 岡田 夏男

* 2026 年度テーマ：デジタル技術を活用したお酒による健康影響の評価やお酒による諸問題の解決につながる研究

公益財団法人 お酒の科学財団
2025 年度事業報告書の附属明細書
(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

事業報告の内容を補足するような重要な事項はありません。